

抽出案件概要（一般競争入札）

項 目	説 明 内 容
契約名 (工事・物品・役務等の別)	一元的な輸出に関する証明書発給システムの再構築に係る設計・開発、導入及び運用保守業務 (役務)
概 要	一元的な輸出に関する証明書発給システムの次期システムの構築、本番稼働及び運用・保守を行う。
契約状況(方式)別 審査カテゴリ	入札・契約審査委員会 (☐ 審査対象外) ☒ 審査対象 [☐ 新規案件 ☒ 前年度(前回)一者応札 ☐ 前年度随意契約 ☐ その他] 一者応札(応募)改善策 ☒ 策定対象 ☐ 策定対象外 [☐ 公募 ☐ 次年度契約なし ☐ 研究開発 ☐ 改善の余地が見込まれない ☐ 複数応札 ☒ 総合評価 ☐ 委託事業 ☒ 予算額1,800万以上の物品・役務
契約担当官名	支出負担行為担当官 農林水産省大臣官房参事官(経理)
契 約 内 容	競 争 方 式
	一般競争契約(総合評価)
	応 札 者 数
	1 者 (うち公益社団法人等 0 者)
	契 約 相 手 方
	東芝デジタルソリューションズ株式会社 法人番号 7010401052137 (※ 同内容の過去3年間の契約相手方との実績 有 契約年度: 4年度～ 5年度)
	契 約 締 結 日
	令和7年2月13日
契 約 内 容	履 行 期 間
	令和7年2月13日 ～ 令和9年3月31日
	予 定 価 格 (契約限度額)
	968,556,600 円
	契 約 金 額
	854,920,000 円
	落 札 率
	88.2 %
一般競争参加資格の 設定の理由及び経緯	入 札 公 告 : 令和6年12月9日 ～ 令和 7年1月28日 (50日) 入 札 説 明 会 : 令和6年12月19日 証 明 書 締 切 : 令和7年1月29日 入 札 実 施 : 令和7年2月13日 応 札 者 の 条 件 : 役務の提供等のA等級が対象であるが、B等級を追加したほか、システム構築の品質管理体制及び情報セキュリティに係る条件を設定。 【応札者の条件の設定理由】 本業務は他省庁や地方公共団体も含めた共通システムである一元的な輸出証明書発給システムの再構築について、約2年にわたり業務を行うものであり、高度な技術及び知識が必要である。A等級に限定した場合、応札者が現れない可能性があることから、十分な競争性を確保するため、A及びB等級に拡大した。 【総合評価落札方式による選定概要】

	本業務は、システム関係を行うものであるため、総合評価落札方式によって契約相手方を選定した。 入札価格と技術等に対する総合評価の得点配分の比率は1：1であり、総合評価点（ 点中 点（内訳：価格点（ 点中 点）、技術点（ 点中 点））を獲得した東芝デジタルソリューションズ㈱と契約を締結した。
一者応札となった原因	（入札等説明書受領業者 8 者、入札説明会参加業者 3 者） 本業務は、意見招請を行い、事業者からの意見に基づき仕様書の記載の見直しを行ったり、資料閲覧を可能にする等の工夫をしたが、結果として1者応札となったもの。 （考えられる原因） 入札説明書受領業者のうち8者に対しアンケートを実施し、提出のあった4者の回答から原因を分析した結果、 ①他の受注案件を抱えており、受注業務量の兼ね合いから必要な人員を確保できないと判断したため。 ②システムの再構築のため、既存システムの理解も必要な業務であるためなどが理由と考えられる。
改 善 策	①について、業務量の見直しは困難であるが、公告時期を早めることとする。 ②については、既存システムに係る仕様書の記載をより分かりやすくすることにより、改善をはかる。
備 考	

添付資料

- ① ☒ 仕様書(P3～P315) 及び予定価格の調書及び算定基礎(P316～P317)
- ② ☒ 入札公告の写し(P318～P319)
- ③ ☒ 入札執行調書の写し(P320)
- ④ ☒ 一般競争契約審査調書(P321)、チェックリスト(P322～P326)
- ⑤ ☒ 提案書(総合評価落札方式の場合)(P327～P623)
- ⑥ ☒ 技術審査委員会審査結果(P624)、採点結果(P625～P629)、技術審査検討経過記録(P630～P636)
- ⑦ ☒ 1者応札改善策チェックシート(別紙含む)(P637～P647)
- ⑧ ☐ 委託事業の場合は、事業概要
- ⑨ ☐ その他参考資料

抽出案件概要（一般競争入札）

項	目	説 明 内 容
契約名 (工事・物品・役務等の別)		令和6年度輸出環境整備推進委託事業（既存添加物等申請事業のうちクチナシ青色素使用認可申請に必要なデータ収集事業） (役務)
概 要		我が国の農林水産物・食品（以下「日本食品」という。）の輸出や食料産業の海外展開に際しては、当該日本食品が輸出先国・地域（以下「輸出先国」という。）の定める食品等に係る法規・規格等に適合する必要がある。 本事業では、EUにおいて我が国のクチナシ青色素の使用が認められることにより、この添加物を含む日本食品の輸出を促進するという観点から、EUへのクチナシ青色素の使用認可申請に必要な安全性評価項目の試験を実施し、試験データの分析・調査を実施する。
契約状況(方式)別 審査カテゴリ		入札・契約審査委員会 (☐ 審査対象外) ☒ 審査対象 [☒ 新規案件 ☐ 前年度(前回)一者応札 ☐ 前年度随意契約 ☐ その他] 一者応札(応募)改善策 ☐ 策定対象 ☒ 策定対象外 [☐ 公募 ☒ 次年度契約なし ☐ 研究開発 ☐ 改善の余地が見込まれない ☐ 複数応札 ☒ 総合評価 ☒ 委託事業 ☒ 予算額1,500万以上の物品・役務
契約担当官名		支出負担行為担当官 農林水産省大臣官房参事官(経理)
契約 内 容	競 争 方 式	一般競争契約(総合評価)
	応 札 者 数	1 者 (うち公益社団法人等 0 者)
	契 約 相 手 方	三栄源エフ・エフ・アイ株式会社 法人番号 6120901023791 (※ 同内容の過去3年間の契約相手方との実績 有 契約年度: 令和4年度)
	契 約 締 結 日	令和7年 3月 17日
	履 行 期 間	令和7年 3月 17日 ~ 令和8年 3月 13日
	予 定 価 格 (契約限度額)	71,706,439 円
	契 約 金 額	71,706,439 円
	落 札 率	100.0 %
		入 札 公 告 : 令和7年1月31日 ~ 令和7年2月21日 (20日) 入 札 説 明 会 : 令和7年2月10日 証 明 書 締 切 : 令和7年2月25日 入 札 実 施 : 令和7年3月10日 応 札 者 の 条 件 : 「役務の提供等」の「A」等級が対象であるが、 「B」、「C」及び「D」等級を追加し、対象者を拡大している。 【応札者の条件の設定理由】 本案件の予算額に対応する入札参加資格は「A」等級該当する業者である

一般競争参加資格の設定の理由及び経緯	が、高度な専門的知識・経験を必要とする事業であり対応できる事業者が少数と考えられるため、「A」等級に限定した場合、応札者が現れない恐れがあることから、十分な競争性を確保するため、「A」～「D」等級に拡大した。 【総合評価落札方式による選定概要】 本事業では、EUが要求する評価項目に対し、試験の分析・取得データのとりまとめや、成果物を用いたEUへの使用認可申請及び食料衛生管理当局との協議等を行い、高度な専門的知識・経験を必要とするものであるため、総合評価落札方式によって契約相手方を選定した。 入札価格と技術等に対する総合評価の得点配分の比率は1：2であり、総合評価点■■点中■点（内訳：価格点（■点中■点）、技術点（■■点中■点））を獲得した三栄源エフ・エフ・アイ株式会社と契約を締結した。
一者応札となった原因	—
改 善 策	—
備 考	

添付資料

- ① ☒ 仕様書(P3～P13) 及び予定価格の調書及び算定基礎(P14～15)
- ② ☒ 入札公告の写し(P16～P17)
- ③ ☒ 入札執行調書の写し(P18)
- ④ ☒ 一般競争契約審査調書(P19)、チェックリスト(P20～P23)
- ⑤ ☒ 提案書(総合評価落札方式の場合)(P24～P28)
- ⑥ ☒ 採点結果(P29～P31)、技術審査検討経過記録(P32～P33)
- ⑦ ☐ 1者応札改善策チェックシート(別紙含む)
- ⑧ ☒ 委託事業の場合は、事業概要(P34)
- ⑨ ☐ その他参考資料(※該当がある場合、資料の名称を当該括弧内に記入)

抽出案件概要（随意契約）

項	目	説 明 内 容
契約名 (工事・物品・役務等の別)		令和6年度戦略的国際共同研究推進委託事業（インド共和国との共同研究分野）（雑穀ゲノム育種技術と安定生産技術の確立） (役務)
概 要		日本とインド共和国の研究機関が行う共同研究のうち、日本側の研究機関が実施する研究に対し、農林水産省が委託を行う事業。インド共和国は、インド共和国国内の研究機関に分担する研究を実施。
契約状況（方式）別 審査カテゴリ		入札・契約審査委員会（ ☐ 審査対象外） ☒ 審査対象〔 ☒ 企画競争・公募 ☐ その他の随意契約〕 一者応札（応募）改善策 ☐ 策定対象 ☒ 策定対象外〔 ☐ 公募 ☐ 次年度契約なし ☒ 研究開発 ☐ 改善の余地が見込まれない ☐ 複数応札〕 ☒ 委託事業
契約担当官名		支出負担行為担当官 農林水産省大臣官房参事官（経理）
契約 内 容	契約方式	随意契約
	会計法令 根拠条文	会計法第29条の3第4項（企画競争）
	応札者数	1 者（うち公益社団法人等 1 者）
	契約相手方	雑穀育種栽培技術研究コンソーシアム代表機関 公益財団法人岩手生物工学研究センター 法人番号 2400005005266 (※ 同内容の過去3年間の契約相手方との実績 無)
	契約締結日	令和7年3月3日
	履行期間	令和7年3月3日 ～ 令和7年3月31日
	予定価格 (契約限度額)	8,209,000 円
	契約金額	8,209,000 円
	落札率	100.0 %
随意契約の理由 及 び 経 緯		企画競争の公示：令和6年10月1日 ～ 令和6年11月15日（44日） 企画競争の説明会：令和6年10月16日（任意） 企画書提出締切日：令和6年11月15日 企画提案会：令和6年11月29日 応札者の条件：「役務の提供等」の「C」等級が対象であるが、 「A、B、D」等級を追加し、対象を拡大した。 【応札者の条件の設定理由】 今回の調達案件の予算額に対応する競争参加資格は「C」ランクに該当する事業者であるが、当該ランクの資格を有する者のみに限定すると、応募者数が少数と見込まれるため、十分な競争性を確保するため、「A」、「B」、「C」及び「D」ランクを対象とする幅広い競争参加条件とした。

	【企画競争の結果概要】 本業務は、インド共和国と共同研究を行うものであるため、共同で研究開発を行うインド共和国内の研究機関との分担を明らかにした提案書およびプレゼンテーション等により比較検討を実施し、優れた者を契約候補者に選定する企画競争を実施した。 選定に当たっては、審査委員会が提案書およびプレゼンテーションを審査・採点し、公益財団法人岩手生物工学研究センターが■■■■点中■■■■点■■■■点を獲得し、契約候補者となり、会計法第29条の3第4項に基づき契約を締結した。
一者応札となった原因	—
改 善 策	—
備 考	

添付資料

- ① ☒ 仕様書(P3～10) 及び予定価格の調書及び算定基礎(P11～12)
- ② ☒ 企画競争の公告の写し(P13～P14)
- ③ ☒ 随意契約理由書(契約方式の理由)(P15～P17)
- ④ ☒ 随意契約審査調書(P18)、チェックリスト(P19～P23)
- ⑤ ☒ 企画書(企画競争、公募の場合)(P24～P83)
- ⑥ ☒ 企画審査委員会審査結果(P84～87)、採点結果(P88～P90)、企画審査検討経過記録(P91～P94)
- ⑦ ☒ 随意契約審査調書(契約相手方決定時)(P95～P96)
- ⑧ ☐ 1者応札改善策チェックシート(別紙含む)
- ⑨ ☒ 委託事業の場合は、事業概要(P97)
- ⑩ ☐ その他参考資料(※該当がある場合、資料の名称を当該括弧内に記入)

7

一者応札となった原因	(企画競争等の説明書受領業者1者、企画競争説明会参加業者4者) 本業務は、令和6年度からの新規業務であり、結果として1者応札となったもの。 (考えられる原因) 企画競争等の説明書受領業者のうち1者に対し、アンケートを実施し、原因を分析した結果、 ①体制構築等の検討期間が短かったこと ②予算の内訳等が若干不明瞭であったこと ③調査事業と調査手法の検討を1事業年度に実施するため、体制の確立、関係者との調整が困難となったこと などが理由と考えられる。
改 善 策	ヒアリング調査の結果を踏まえ、改善策として、 ①については、新規参入事業者が事業計画や実施体制の検討、必要な人員の確保ができるよう、公告期間の延長を行う。 ②については、本事業で計上可能な対象経費一覧を仕様書に添付するとともに、事業の規模感を明示できるよう検討する。 ③については、調査事業と調査手法の検討に関する事業を分けることを検討する。
備 考	

添付資料

- ① ☒ 仕様書(P3～P46) 及び予定価格の調書及び算定基礎(P47～48)
- ② ☒ 企画競争の公告の写し(P49)
- ③ ☒ 随意契約理由書(契約方式の理由)(P50～P52)
- ④ ☒ 随意契約審査調書(P54)、チェックリスト(P55～P58)
- ⑤ ☒ 企画書(企画競争、公募の場合)(P59～P300)
- ⑥ ☒ 企画審査委員会審査結果(P301)、採点結果(P304～P312)、企画審査検討経過記録(P302～P303)
- ⑦ ☒ 随意契約審査調書(契約相手方決定時)(P313)
- ⑧ ☒ 1者応札改善策チェックシート(別紙含む)(P314～P318)
- ⑨ ☒ 委託事業の場合は、事業概要(P319)
- ⑩ ☐ その他参考資料(※該当がある場合、資料の名称を当該括弧内に記入) (P)

抽出案件概要（随意契約）

項 目		説 明 内 容
契約名 (工事・物品・役務等の別)		令和6年度不測時における食料供給シミュレーションモデル構築委託事業 (役務)
概 要		不測の事態を想定し、必要な対策を検討するため、諸外国の事例を参考とし、国内の農地や労働力をはじめとする生産基盤の確保状況、品目ごとの輸出入量、食料等の備蓄状況、世界の需給動向を考慮し、供給熱量や栄養バランスを最適化する我が国の食料供給シミュレーションモデルを構築。
契約状況(方式)別 審査カテゴリ		入札・契約審査委員会 (審査対象外) ☒ 審査対象 [☒ 企画競争・公募 ☐ その他の随意契約] 一者応札(応募)改善策 ☒ 策定対象 策定対象外 [公募 次年度契約なし 研究開発 改善の余地が見込まれない 複数応札] ☒ 委託事業
契約担当官名		支出負担行為担当官 農林水産省大臣官房参事官(経理)
契 約 内 容	契 約 方 式	随意契約(企画競争)
	会 計 法 令 根 拠 条 文	会計法第29条の3第4項(企画競争)
	応 札 者 数	1 者 (うち公益社団法人等 0 者)
	契 約 相 手 方	EYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社 法人番号 6010001107003 (※ 同内容の過去3年間の契約相手方との実績 有 契約年度：令和5年度～令和6年度)
	契 約 締 結 日	令和7年3月31日
	履 行 期 間	令和7年3月31日 ～ 令和8年3月13日
	予 定 価 格 (契約限度額)	99,996,050 円
	契 約 金 額	99,996,050 円
	落 札 率	100.0 %

随 意 契 約 の 理 由 及 び 経 緯	企 画 競 争 の 公 示 : 令和7年2月10日 ~ 令和7年2月26日 (15日) 企 画 競 争 の 説 明 会 : 令和7年2月17日 (任意) 企 画 書 提 出 締 切 日 : 令和7年2月27日 企 画 提 案 会 : 令和7年3月3日 応 札 者 の 条 件 : 「役務の提供等」の「A」、「B」、「C」又は「D」の等級に格付けされている者。 また、令和7年4月1日から有効な令和7、8、9年度の農林水産省競争参加資格(全省庁統一資格)の申請を行っている者又は申請を確約できる者であること。 【応札者の条件の設定理由】 本来であれば競争参加資格は「A」等級のみとなるが、等級を限定した場合、提案者が少数になることが懸念されるため、十分な競争性を確保する観点から、「D」等級まで対象を拡大した。 【企画競争の結果概要】 本事業は、企画提案書、プレゼンテーションにより、比較検討を実施し、最も優れた者を契約候補者に選定する企画競争を実施した。 選定に当たっては、企画審査基準により、企画審査委員会が企画提案書を審査・採点し、EYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社が 点中 点を獲得し、契約候補者となり、会計法第29条の3第4項に基づき契約を締結した。
一者応札となった原因	(企画競争説明会参加業者3者、うち企画競争参加表明書受領業者1者) 食料自給カシミュレーションに関する調査・分析事業を令和5年度より行っており、これまでも企画競争参加表明書受領業者は複数者となっていたことから、本事業においても過去と同様の応札者条件としたが、結果として1者応募となったもの。 (考えられる原因) 企画競争説明会参加者のうち2者に対してアンケートを実施(1者応募のため企画競争説明会に参加した残りの事業者にアンケートを実施)したところ、1者のみから回答を得た。原因は、 参入要件等に関して、社の専門分野・得意分野と異なる分野であったことが理由として挙げられた。
改 善 策	参入要件等については、応札の幅を広げるため、専門分野が異なっても応札できるよう、共同事業体での参加を可能としていたところであり、今後も引き続き同要件を設定し、説明会等でその旨をより強調して説明する。
備 考	

添付資料

- ① ☒ 仕様書(P3~34) 及び予定価格の調書及び算定基礎(P35~36)
- ② ☒ 企画競争の公告の写し(P37)
- ③ ☒ 随意契約理由書(契約方式の理由)(P38~P40)
- ④ ☒ 随意契約審査調書(P41)、チェックリスト(P42~P46)
- ⑤ ☒ 企画書(企画競争、公募の場合)(P47~P162)
- ⑥ ☒ 企画審査委員会審査結果(P163)、採点結果(P164~P171)、企画審査検討経過記録(P172~P173)
- ⑦ ☒ 随意契約審査調書(契約相手方決定時)(P174)
- ⑧ ☒ 1者応札改善策チェックシート(別紙含む)(P175~P179)
- ⑨ ☒ 委託事業の場合は、事業概要(P180)
- ⑩ ☐ その他参考資料(※該当がある場合、資料の名称を当該括弧内に記入)